

2024年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ミクロ経済学 (Microeconomics) 2036-0-11-062					担当教員	瀧波 慶信 (タキナミ ヨシノブ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	4	配当年次	1年次	開講期	前期②
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型AL								

① 授業のねらい・概要									
ミクロ経済学は、消費者や企業などの経済を構成する主体がどの様に行動するかという考察から出発して、そうした主体から構成される市場経済がどの様に機能するかを解き明かす経済学の一分野である。ここではミクロ経済学の基礎理論を学習する。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
基本的に講義形式であるが、練習問題を課して目標を達成しているかどうかを確認する。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
特になし。									
⑤ テキスト (教科書)									
N. グレゴリー・マンキュー (2019年) 『マンキュー入門経済学(第3版)』 東洋経済新報社									
⑥ 参考図書・指定図書									
伊藤元重 (2018) 『ミクロ経済学 (第3版)』 日本評論社									
⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 市場経済の仕組みを説明できる。 (ii) 市場経済にまつわる政策問題を理解できる。 (iii) ミクロ経済学の理論を用いて日常の経済問題を説明できる。									

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 市場経済の仕組みの理解度	理論を応用して市場経済を説明できる	理論を当てはめて市場経済を説明できる	理論の説明書を参考に市場経済を説明できる	理論の理解が不十分で市場経済の説明が十分でない	市場経済の仕組みを説明できない
(ii) 政策問題の認識	市場経済における政策問題を認識し解決策を提言できる	市場経済における政策問題を認識できる	市場経済における必要な政策をあまり理解しない	市場経済において政策問題があることをあまり理解しない	市場経済で起きている政策問題を認識できない
(iii) 日常生活の経済学	日常生活における経済問題を認識し理論を用いて解決策を提言できる	日常生活における経済問題を認識し解決策を探る態度がある	日常生活における経済問題を認識するが解決策を探らない	日常生活における経済問題を認識するが理解できない	日常生活における経済問題を考えることができない

⑨ 学習到達目標 (評価項目)	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%			15%	15%		100%
(i) 市場経済の理解	20%			5%	5%		30%
(ii) 市場経済の政策	25%			5%	5%		35%
(iii) 市場経済の経済問題	25%			5%	5%		35%
フィードバックの方法	理解度を図るために学生が学生に説明する機会を設ける。						

⑩ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
高校数学の基礎的な理解が必要。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間 (分) (※特別な持参物)	
1	経済学とは	経済学の思考パターンを知る	120分

2	現実の社会の中の経済を考える	経済学の理論の形を理解する	120分
3	経済学をグラフで読む	グラフを丁寧に読む	120分
4	微分とは	微分の公式、微分の目的を理解する	120分
5	家計の行動	消費者の行動を理解する	120分
6	限界効用理論	効用とは、限界効用とは何かを知る	120分
7	無差別曲線理論	無差別曲線とは何かを理解する	120分
8	予算制約線	予算制約線の表す意味を理解する	120分
9	財について考える	上級財、中級財、下級財について知る	120分
10	需要曲線①（財の価格の変化）	代替効果、所得効果について理解する	120分
11	需要曲線②（所得弾力性との違い）	価格弾力性、交差弾力性について理解する	120分
12	完全競争企業の行動①（利潤と利益はどう違う）	利潤とは、収入と費用とは何かについて理解する	120分
13	完全競争企業の行動②（企業の行動）	供給曲線の表すことは何かについて理解する	120分
14	完全競争市場均衡（ワルラス調整、マーシャル調整）	需要曲線と供給曲線を確認する	120分
15	中間まとめ	1回から14回までの再確認をする	120分
16	不完全競争市場①（供給独占、需要独占）	独占とは何かについて理解する	120分
17	不完全競争市場②（独占的競争市場）	独占的競争について理解する	120分
18	不完全競争市場③（寡占市場の定義）	寡占とは何かについて理解する	120分
19	不完全競争市場④（利得行列）	ゲーム理論について理解する	120分
20	効率と公平①（望ましさとは）	効率性とは、公平性とはについて理解する	120分

21	効率と公平②（公平な社会とは）	ローレンツ曲線、ジニ係数について理解する。	120分
22	効率と公平③（厚生経済学）	余剰分析、パレート最適について学習する。	120分
23	市場の失敗①（費用逓減産業）	費用逓減について理解する。	120分
24	市場の失敗②（外部効果とは）	外部効果について理解する	120分
25	市場の失敗③（公共財とは）	公共財について理解する。	120分
26	市場の失敗④（レモンの原理）	情報の非対称性について理解する。	120分
27	貿易の理論①（国境を越えた財の取引）	貿易制度の意義について理解する。	120分
28	貿易の理論②（比較生産費説）	自由貿易について理解する。	120分
29	貿易の理論③（保護貿易の理論）	保護貿易について理解する。	120分
30	総まとめ	全回の再確認をする	120分

⑫ アクティブラーニングについて
講義の終盤に、振り返り用紙を配付し、各自が本時のまとめを記入する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性